

2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 5 月 12 日作成)

委員会名	田園建築・景観デザイン小委員会	主 査 名：月舘敏栄
所属本委員会 (所属運営委員会)	農村計画委員会	委員長名：藤本信義
設 置 期 間	2002 年 4 月 ~ 2006 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	<p>設置目的</p> <p>田園地域に立地する建築の地域性と環境共生的、生活文化的な建築のデザイン手法について調査研究する。(2002~2003 年度)</p> <p>田園立地建築のヴァナキュラーな側面に着目し、21 世紀の田園建築の獲得すべき建築像を、各地域の具体的な事例を題材に検討する。(2004 年度)</p> <p>建築とランドスケープの調和した新世紀の風景形成のためのデザイン・計画手法についてシンポジウムを開催する。(2005 年度)</p>	
委員構成 (委員名(所属))	<p>主査：月舘敏栄(八戸工業大学)</p> <p>委員：内田文雄(山口大学)・工藤和美(明石工業高等専門学校)・栗原伸治(日本大学)・黒野弘靖(新潟大学)・斎藤雪彦(東京農工大学)・住谷 浩(北海道工業大学)・平田隆行(和歌山大学)・藤沢直樹(日本大学)・山崎寿一(神戸大学)・大沼正寛(東北文化学園大学)・熊野 稔(国立徳山工業高等専門学校)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)		
2003 年度予算	200,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	<p>2003 年 9 月 6 日の大会 2 日目の夜 5 名(主査・幹事・委員)</p> <p>秋の見学会に関する打合せを実施した。</p> <p>具体的実施計画をメールで検討したが、実施に到らなかった。</p>
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>田園地域に立地する建築や環境のデザインには、地球環境時代に対応すべくエコロジカルでサステナブルな性格が求められる。そのためのデザイン、景観形成手法の新たな開発に関する基礎的見解を幹事会としてまとめた。(2002~2003 年度)</p> <p>21 世紀の国土の新風景形成にあたって、国土の 8 割を占める農村地域に立地する建築や形成される景観の評価を行い、そのビジョンを提示するために調するための、地域や計画、歴史、デザインの専門分野を横断する研究と交流の場を設定することに目標とした公開研究会を予定していたが、諸般の事情から実施できなかった。</p> <p>委員会 HP アドレス：</p>
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>今年度は、前年度にまとめた景観形成修手法に関する計画、歴史、デザインの専門分野を横断する研究と交流の場を設定することに目標とした公開研究会を予定していたが、諸般の事情から実施できなかった。</p>
その他評価すべき事項	特になし